

令和2年11月1日

第74号

令和2年8月臨時会、  
9月定例会の内容を  
お知らせします。

# 市議会だより なげなげ たより

## おもな内容

- P2 シリーズ「議会のとびら」第5回
- P3 補正予算の概要（8月臨時会）／  
常任委員会 委員長報告（8月臨時会）／審議結果（8月臨時会）
- P4 補正予算の概要（9月定例会）／令和元年度決算の概要（9月定例会）
- P5 一般質問（9月定例会）
- P10 常任委員会 委員長報告（9月定例会）
- P11 審議結果一覧（9月定例会）
- P12 未来日誌／市議会だより第73号掲載記事の補足説明／  
飛沫防止パネルの贈呈／傍聴席／表紙の説明／編集後記

# シリーズ 議会のとびら 5

市議会をより身近に感じていただくために、市議会や市政の情報をタイムリーに紹介し、市議会とみなさんをつなぐコーナーです。

今回は、  
議会報告会について



## WEB de かけがわ 議会報告会

議会報告会は、「市民に開かれた議会」を目指し続けて、今年で8年目となります。

市民のみなさんに、3つの常任委員会が取り組んでいるテーマの中間報告をさせていただき、ご意見を伺う場として位置付けております。そして、議会内で議論を交わし、議案審議や政策提言に繋げております。本年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見込めないため、会場開催を見送り、動画配信によるWeb開催とさせていただきました。

掛川市議会ホームページにて11月2日から公開いたしますので、是非ともご視聴いただき、Web上のアンケート等にて、多くのご意見をお寄せいただければと思います。

いただいたご意見は、今後の議会活動に反映させて参りますので、よろしく願いいたします。

広報広聴特別委員長 藤原正光

### 総務委員会

年間テーマ

市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナ緊急支援対策室や議会のコロナ対策活動、コロナ禍での避難所運営や、ポストコロナの展望についてご報告します。



協議会の様子

### 環境産業委員会

年間テーマ

ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策

地域資源や空き家活用の宿泊、ワーケーション事業、リモートワークやアートを基軸にした掛川市の強みを活かした新たな移住定住策についてご報告します。



ゲストハウス「どこにもない家」オーナーと

### 文教厚生委員会

年間テーマ

人生100年時代構想を踏まえた地域包括ケアシステムの現状と課題について

住み慣れた地域で安心して自分らしく、最期まで暮らすために設置された「ふくしあ」が、時代のニーズに対応するためにどうあるべきかご報告します。



南部大須賀ふくしあを視察

11月2日から11月末日まで掛川市議会HPで公開！

是非ご覧いただきご意見をお寄せください！  
よろしく願いいたします。  
(資料については市議会HPよりダウンロードできます。)

#### 視聴方法

掛川市議会 議会報告会

検索

右記QRコードからもご視聴いただけます！



# 8月臨時会 令和2年度一般会計補正予算(第6号)の概要

**補正額 6億2,846万9千円**

**補正後の予算額 644億5,372万7千円**

### 防災資機材整備費 増 2,550万円

災害時の広域避難所等における新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫感染予防のためのパーティションや非接触型電子温度計の整備等に要する費用。



### 地域経済応援事業費 増 3億6,500万円

新型コロナウイルス感染症の影響により減少している市内消費の喚起と市民の暮らしの支援を促進するため、市内取扱店舗で使用可能なプレミアム付商品券を発行する費用。



### 学校教育情報化推進事業費 増 6,472万円

オンライン学習の充実を図るため、学校からのネット回線を増強する費用。家庭にネット環境がない子どもへの貸し出し用ポケットWi-Fiを整備する費用。



## 常任委員会委員長報告

補正予算  
関係抜粋

令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

### 総務委員会 委員長 小沼秀朗

#### タブレットを活用した防災対策について

**Q** 防災対策用タブレットの管理運営方法と導入に向けた今後のスケジュールを伺う。

**A** 市内238の自主防災会に配付予定で、9月から購入を進める計画です。管理運営方法については、今後、自主防災会及び自治会と協議していきます。

#### コロナ禍における救急活動について

**Q** 救急活動に必要な被服の購入数を伺う。

**A** 新型コロナウイルス感染症禍において、本年度は使い捨てガウン500着の使用を想定し、300着程度、追加購入する予定です。

### 環境産業委員会 委員長 山本裕三

#### 掛川城周辺施設管理費について

**Q** 掛川城バーチャル体験コンテンツ開発について、至った経緯を伺う。

**A** 新しい文化の体験づくりを進めるために、既存の掛川城の点群データを活用することを考えました。

#### 地域経済応援事業費について

**Q** 事務費が大きく占めているが、プレミアム付商品券の利用率向上策について伺う。

**A** 消費拡大が見込める12月、1月に使用していただけるよう周知していくことで、利用率向上につながっていくと考えます。

### 文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

#### 魅力ある小学校づくり推進費について

**Q** 安定したインターネット環境が整っている家庭が9割とのことであるが、その中にはスマートフォンだけの家庭も含まれているのか。

**A** スマートフォンのみの家庭は含みません。

## 8月臨時会における審議結果

「令和2年度掛川市一般会計補正予算(第6号)について」は全会一致で可決されました。

# 9月定例会 令和2年度一般会計補正予算(第7号)の概要

**補正額 657万8千円**    **補正後の予算額 644億6,030万5千円**

## 損害賠償請求事件に係る弁護士委託料 追加 658万円

家代の里地内の緑地の売却に係る損害賠償請求事件の弁護士委託料について、『市長及び職員に重大な過失があったと認められた場合は、当該費用を請求すること』や『早期の課題解決に全力で努めるとともに、経過報告を議会や市民に説明を行うこと』等の附帯決議を付して可決。

# 9月定例会 令和2年度一般会計補正予算(第8号)の概要

**補正額 1億7,054万2千円**    **補正後の予算額 646億3,084万7千円**

## 下垂木地区まちづくり事業費 増 1億1,800万円

市道桜が丘通り線及び杉谷家代線の道路改良工事費。

## 福祉施設等建設事業助成費 増 1,954万円

保育所等における新型コロナウイルス感染防止用の備品等購入に係る補助金。

# 令和元年度 一般会計歳入歳出決算など各種会計決算を認定

### 令和元年度決算概要

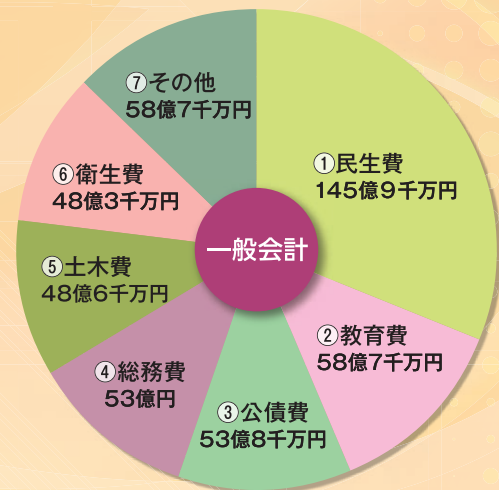
**一般会計** | 歳入決算額 … 483億7,194万円  
歳出決算額 … 467億3,840万円

**特別会計** | 歳入決算額 … 269億1,467万円  
歳出決算額 … 259億2,984万円

\*特別会計とは、国民健康保険、介護保険、下水道事業など14会計です。

**水道事業会計 (収益的収支\*)** | 収入決算額 …… 31億6,952万円  
支出決算額 …… 27億9,762万円

\*収益的収支とは、1年間の事業活動に関する水道料金などの収入と、受水費、修繕費、職員の給与などの支出です。



- ① 民生費 31.2% …… 児童、高齢者、障がい者の福祉増進など
- ② 教育費 12.6% …… 学校の管理運営や教育施設の充実など
- ③ 公債費 11.5% …… これまでの施設整備などで借りたお金の返済に
- ④ 総務費 11.3% …… 総務、財産管理、広報広聴、協働のまちづくりなど
- ⑤ 土木費 10.4% …… 道路、河川、公園の整備など
- ⑥ 衛生費 10.4% …… 市民の健康づくり、ごみ・し尿の処理など
- ⑦ その他 12.6% …… 労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、議会費



日本共産党  
勝川志保子

## 市内でお金が回る地域循環型経済をつくるために

**Q** 市の行なう公共の事業が確実に市内業者の仕事となり、その利益が税金や市内消費となる地域循環型の経済をつくることが大切だと考える。市としてどう取り組むか。



発行予定のプレミアム付商品券「掛川ささえあい応援券」

## 市内業者が受注できるような優先的な発注を心がけている

**A** 市内業者が掛川市の事業を受注し、利益が税金や市内消費へ還元されていくことは以前からも重要と考えており、事業発注に際しては、競争原理を図った上で、市内業者が受注できるような優先的な発注に心がけています。

## 確実に医療につなげられる救急搬送のあり方は

**Q** 軽症判断で救急車が不搬送とする場合も、現場の状況に応じてその後確実に医療につなげるための工夫が必要ではないか。

## 思いやりを持った現場活動をしていく

**A** 不搬送となった方が自力で医療機関へ受診することが難しい場合は、頼れる方や警察、福祉関係者などへ連絡し、救急隊は依頼した方が到着するまで現場に滞在し、容体を伝え、医療機関への搬送をお願いしています。今後も高齢化が進み、救急事案の増加が予想されますので、不搬送時でも安心して医療機関への受診ができるように、これまで同様、思いやりを持った現場活動をしていきます。

### 【その他の質問事項】

・持続可能なまちをめざす視点でのごみの減量化について



アクティブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
松浦昌巳

## 掛川市の主幹作物であるお茶を守るために

**Q** 掛川市とJAそして茶生産者を含めた茶業関係者でつくる、「掛川茶業の未来を考える会議」を立ち上げ、お茶の需要と供給バランスを考慮し、改植や生産計画を立てられないか。



茶草場農法で管理された茶畑と茶文字

## 関係機関と連携した支援を検討していく

**A** 経済連、茶業研究センター、JAが連携し、将来の需要予測による生産計画に基づき、奨励品種への改植や国事業の活用による改植支援を進めています。また、掛川市農業の将来を

支える若手農業者の声を聞く機会を設けるなど、課題の解決に向けた取り組みが進むよう、静岡県をはじめ関係機関と連携した支援を検討していきます。

## ブロック塀や住宅の耐震化率を向上させるために

**Q** コロナ禍において、災害時の避難の考え方が変わり、在宅避難が優先される中、ブロック塀や住宅の耐震化の助成制度に、「代理受領」方式を導入し、本人の負担を軽減させることが出来ないか。

## 今後の制度のあり方について研究していく

**A** 掛川市では、申請者の負担を軽減するために、市単独で上乘せ補助を行うなど、県内でも高い補助額を設定しています。更なる耐震化推進の観点からも、代理受領方式を含め、今後の制度のあり方について、所有者の利便性や事業者の意向、県内の他市町や庁内各種補助事業の状況も踏まえ、研究していきます。



創世会  
嶺岡 慎悟

**デジタル化を推進する組織の設置をすべきでは**

**Q** ポストコロナ社会において、デジタル化の推進は必要不可欠である。デジタルトランスフォーメーション（DX）を実現するためにDX推進課やDX戦略本部を設置するべきではないか。

DXとは・・・  
データとデジタル技術を活用して、サービス、業務等を変革し、競争上の優位性を確立すること



**DX戦略を検討する推進本部を設置し、組織のあり方を検討していく**

**A** ポストコロナにおいて持続可能なまちを築いていくには、あらゆる分野においてデジタル化を推進し、大きく変革する必要がありますと考えています。

庁内にDX戦略を検討する推進本部を設置するとともに、外部有識者や地域の方などにも参画していただく、オール掛川による組織のあり方を検討していきます。

**マイナンバーカードの普及率向上策は**

**Q** デジタル化の推進、マイナンバーによる地域経済の消費喚起のためにも、マイナンバーカード普及率向上策に取り組むべきでは。

**広報かけがわなどを活用し、普及促進を図っていく**

**A** 普及率向上に向けては、広報かけがわにマイナンバーカードの紹介や、マイナンバーカードの案内を掲載していきます。夜間窓口の開設や、臨時開庁により、マイナンバーカードの交付業務を行う予定です。今後も広報かけがわやホームページなどを活用して、利便性や安全性などをお知らせすることで、より一層の普及促進を図っていきます。



アクティブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
窪野 愛子

**犯罪被害者等支援条例制定早期実現のため委員会の設置を**

**Q** 犯罪被害の当事者やご家族に寄り添った本市の条例制定の早期実現には、支援を必要とする人の意見や要望を反映するために、委員会の設置が必要と思いががが。

**委員会の設置は考えていないが、条例制定の作業を進めていく**

**A** 条例制定においては見舞金の支援だけでなく、相手に寄り添った相談や情報提供の充実、日常生活の支援など、多様な支援の内容について検討していく必要があります。掛川警察署の「犯罪被害者支援連絡会」においても、関係団体と情報共有を進めています。委員会の設置は考えておりませんが、可能な範囲で支援を必要としている方から意見を聞くとともに、庁内の関係各課を

中心に条例制定の作業を進めていきます。

**将来にわたって安定的な財政基盤の構築を**

**Q** 安定的な財政運営基盤を構築するために、令和3年度当初予算は歳入に見合う予算規模に圧縮すべきでは。

**過度に基金に依存しない健全な財政運営に努めていく**

**A** 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策などのため、財政調整基金の残高が大きく減る見込みとなり、今後の財源不足が懸念されています。行政経営方針に位置づけた事業やポストコロナを見据えたまちづくりに必要な事業を確実に実施するため、事務事業の見直しや、新たな財源確保に努め、予算規模の適正化と財政調整基金の残高確保を図り、過度に基金に依存しない健全な財政運営に努めていきます。

**【その他の質問事項】**

・パラダイム(物の見方や捉え方)の転換による庁内組織機構編成について



至誠の会  
鷺山喜久

## 住民の安全が守れる野立て太陽光発電設備を

**Q** 農地は管理者の高齢化で維持管理が難しく、太陽光発電設備が設置されることが多い。周辺住民が安心して生活できるために、設置者や事業主と協定を結ぶべきと考えるがいかがか。

## 必要性があれば協定を締結すれば良いと考える

**A** 「掛川市野立て太陽光発電設備ガイドライン」は、事業者や地域にとつて有益かつ周囲の環境と調和を図りつつ、良好で適正な事業実施を促すことを目的に作成しているため、事前に説明会を開催し、その議事録と課題に対する対応記録の提出を求めています。従って、地域と事業者の合意形成の過程で、必要性があれば協定を締結していただければ良いと考えます。

## 掛川工房つつじの作業収入減で救済措置を

**Q** コロナ禍で秋の祭典が中止。掛川工房つつじは軒花の受注がなくなるなど大変な状況である。作業収入減収に対する救済措置を市として行うべきと思うが見解を伺う。

## 今後の状況に注視して、救済措置の必要性を判断する

**A** 県が作業工賃の減少を補填する助成制度を創設しましたが、救済措置の恩恵を受けられない事業所もあることから、今後のコロナウイルスの感染状況、国や県、近隣市の対応を注視しつつ、就労系障がい福祉サービス事業所について救済措置の必要性を判断していきます。



掛川工房つつじ

## コロナ禍の対策を

**Q** コロナ禍により、地域経済が落ち込んでいるため、掛川市の経済をV字回復させる、市長の考えを伺う。

## 地域全体のデジタル化などの推進が地域経済の回復につながるかと考える

**A** 新型コロナウイルス感染症の影響は、経済に大きな変革を起こしており、急速に消費者ニーズが変化しています。今後の地域経済の回復には、地域全体のデジタル化推進や通信販売のための物流機能の強化を進めていくことが必要と考えられています。



創世会  
松本均

## 風水害対策を

**Q** 台風時に、河川本流の水位が上昇し、支流で溢れることから、対策が必要だと思いが見解を伺う。

## 流域全体で水害を軽減させる対策を検討していく

**A** 国土交通省は、本年度、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」への転換を進める方針を示しました。その中で河川への流出抑制が重要とされており、農業用ため池の治水利用や家庭貯留などがあげられています。掛川市では、本年度から「総合治水計画」の策定に着手しており、国土交通省の方針を参考に、流域全体で抜本的に水害を軽減させる対策を検討していきます。





共に創る掛川  
富田まゆみ

**コロナによる差別や誹謗中傷から人権を守るための施策を**

**Q** コロナ感染者や医療機関・店舗などへの不当な扱いから人権を守るため、市民に届く呼びかけや専門窓口の設置、シトラスリボンプロジェクトの推進が実施できないか伺う。



シトラスリボン

シトラスリボンプロジェクトとは…家庭・地域・職場や学校を表す柑橘色の三つの輪のリボンや紐を身に着けて、コロナ関連の差別や誹謗中傷をなくす活動です。

**人権の配慮における、効果的な取り組みについて検討していく**

**A** 現在、人権に関する相談については、中止していません。事務局の電話相談で対応しています。ホームページに掲載中の「コロナ感染者への人権の配慮」については、見やすい形に変え啓発を行う

ていきます。今年度は、「人権施策推進計画」を策定しており、本計画の中でも、コロナ感染者への人権配慮における、効果的な取り組みについて検討していきます。また、シトラスリボンプロジェクトの推進についても検討していきます。

**GIGAスクール構想推進のための財源確保策を**

**Q** 児童生徒のタブレットやインターネット環境は整ったが、今後は急速な学校ICT化を支える人的支援や財源確保が必要となる。企業版ふるさと納税やふるさと納税ヒト版を活用すべきと考えるがいかがか。

**広い視点で制度を活用し、企業と連携しながら、推進していく**

**A** 企業版ふるさと納税は掛川市のまちづくりを推進するうえで、有効な財源として活用できると考えています。今後、企業版ふるさと納税については、GIGAスクール構想の推進を含め、広い視点でこの制度を活用し、企業と連携しながら、持続可能なまちづくりを推進していきます。



共に創る掛川  
鈴木久裕

**平和観世音像の文化財指定と活用に向けた取り組みは**

**Q** 富士見台霊園脇にある平和観世音像の文化財的価値と重要文化財指定に向けた取り組みはどのような状況か。

**専門家による調査を検討していく**

**A** 平和観世音像は、文化財としての一定の評価はもらっていますが、重要文化財としての価値があるかどうかは、専門家による詳細調査が必要であり、調査方法等について検討していきます。その結果を受けて、国へ情報提供をしていきます。また、平和への活用についても研究していきます。



平和観世音像

**市の仕事を成果で管理できる仕組みの準備状況は**

**Q** 市では来年度から、予算・決算時には、市の事務や事業について、具体的な成果情報をもとに審議や協議ができるようにすることになっているが、そのための準備はどんな状況か。

**予算科目の見直しと総合計画の施策体系への関連づけは完了している**

**A** 予算科目の見直しと総合計画の施策体系への関連づけは完了しており、令和3年度の予算要求作業が新財務会計システム上で開始されています。また、行政評価システムとの連動を進めており、今後は、事務事業に成果を測る指標や目標値等の設定を行っていきます。これらは、新たに作成する予算・決算説明書に反映させ、令和3年度予算から、具体的な成果情報に基づいた審議や協議を可能にしていきます。

**【その他の質問事項】**

・駅周辺駐車場等の指定管理制度変更と中心市街地活性化に対する考え方について

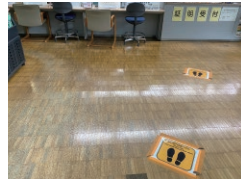




創世会  
藤原 正光

## ナッジ理論による新たな 仕組みづくりを

**Q** 今後厳しくなる財政状況のなか、最小の経費で最大の効果を生む可能性のあるナッジ理論を活かし、施策や事業に取り入れることを目指す掛川版ナッジ・ユニットの設置をするべきではないか。



市役所内で密を避けるために使われているナッジ理論の施策例

ナッジ理論とは…人々が自分自身にとって、よりよい選択を自発的に取れるように手助けする政策手法

## 掛川版ナッジ・ユニットの 設置の必要性を研究していく

**A** 掛川市の施策や事業に、ナッジ理論の観点を取り入れることは必要であると考えています。職員のナッジ理論に関する知識や理解は進んでいない状況です。まずは、ナッジ理

論の周知や活用方法について研修等を行い、効果的に活用できるように検討していきます。また、掛川版ナッジ・ユニットの設置については、職員のナッジ理論の習熟度等を勘案しつつ、設置の必要性を研究していきます。

## 発達障がい者にも居場所 づくりを

**Q** 発達障がい者の就労困難や社会的孤立を支えるために、理解を増やす取り組みをはじめ、見守り付きでテレワークを行う場所や、クラウドソーシングを活用した働き方の支援が必要と考えるが見解を伺う。

## 障がいを持った方の希望や 適性に応じた支援に努める

**A** 福祉課の就労支援員が障がいのある方の「働きたい」をかなえるための支援を行っています。今後も障がいを持った方の希望や適正に応じて、テレワークなども含め「働ける」につながるよう関係機関や企業等と連携しながら就労支援に努めていきます。また、クラウドソーシングの活用については、よく研究していきたいと考えます。



アクティブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
藤澤 恭子

## 子どもたちに郷土愛を育む 施策がより必要ではないか

**Q** テクノロジーの進化によるスピード社会で郷土愛を育む機会が減少する可能性があるかと危惧している。高校生意識調査の結果から、もう一歩踏み込んだ施策の展開について伺う。

## 若者世代の地元への愛着心を 醸成していく

**A** 本年2月、市内4高校及び特別支援学校と連携協力協定を締結し、高校生との連携事業を積極的に推進しています。今後は、高校生はもちろん、小中学生の頃から、まちづくりへの参画や地域社会と接する機会を増やすことで、若者世代の地元への愛着心を醸成していきます。

## デジタル化による業務改善 をすべきではないか

**Q** 市民ニーズを捉え各種手続きのオンライン化を進めるべきである。情報発信や各種サービスにLINEシステムの導入を考えるとどうか。



## 公式LINEの運用を開始し、多様化するニーズに対応していく

**A** 本年12月に公式ホームページのリニューアルをして、公式LINEの運用を開始する予定です。新ホームページでは、ふりがなや背景色など利用しやすさに配慮するほか、翻訳やイベントカレンダーなど、利用者のニーズに応える機能を装備します。今後も、公式ホームページやLINE等で積極的に情報発信していくほか、LINE上で提供可能なサービスを研究し、多様化するニーズに対応するよう努めていきます。

### 【その他の質問事項】

・市民との意思疎通について



創世会  
寺田 幸弘

### 協働のまちづくりの在り方

**Q** 今後、協働のまちづくりを更に進めていくために、空き施設となる幼稚園・保育園の活用を地元まち協、区長会、市当局により、協議会を立ち上げ検討するべきと思うが考えを伺う。

### 必要に応じて関係者と相談していく

**A** 公共施設再配置方針では、公共施設再配置により発生した余剰施設は、原則として解体または譲渡するものとしていきます。空き施設について、市の施設として利活用の見込みがない場合は、譲渡等の形により、施設の運営・維持管理に要する経費の全額負担などを条件として、地域の方々に利活用の有無を伺っていきます。利活用の希望がある場合は、必要に応じて関係者と相談して

きます。

### 市民意識調査の結果対応を

**Q** 市民意識調査で満足度が低い「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」について、どのような対応をしていくのかを伺う。

### 各種事業を市民総ぐるみで進めていく

**A** 子育て相談や一時預かりの充実を図るとともに、待機児童対策や教育・保育の質の向上、配慮を要する子どもや家庭への支援など、「第二期子ども・子育て支援事業計画」の各種事業を地域や企業などと協働により、市民総ぐるみで進めていきます。



## 常任委員会 委員長報告

決算関係  
抜粋

令和元年度の各種会計決算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

### 総務委員会 委員長 小沼秀朗

#### 消防団活動費について

**Q** 分団消防センターの安全確保改修等、消防団要望に応え、団員確保に繋げる必要がある。消防署員数の不足を補う消防団員の出動手当を増額する考えはあるか。

**A** 他市町と差異が無いよう、行事や訓練等、年間を通じた出動手当を支給しています。

#### 広報広聴費について

**Q** 多くの人に読んでもらうために全戸配付をしている広報かがわを、インターネットの普及により印刷部数を減らす考えはないか。

**A** 現状では考えていませんが、今後は電子化の検討が必要と考えます。

### 環境産業委員会 委員長 山本裕三

#### 緑茶活用調査研究事業費について

**Q** 緑茶活用調査研究事業の調査結果はいつ出るのか。

**A** 新型コロナウイルスの影響により、県立大学での研究が止まっているため、現時点では未定です。

#### 土砂災害対策費について

**Q** ハザードマップ作成業務委託料に関連して、今回作成したマップが何年も変わらず対応できるものと考えてよいか。

**A** 今回更新したことにより、現指定区域は完了しましたが、指定見直しの際には、随時更新していきます。

### 文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

#### 生活習慣病予防費について

**Q** 大腸がん検診の課題は、実施方法の違いにより、総合がん検診に取り入れることが困難とあるが、どういうことか。

**A** 現在、希望者が先に容器を購入し提出という手順のため、他のがん検診と同時に実施できません。来年度からは、同様に受診できるよう検討しています。

#### 要保護等児童・生徒就学支援費について

**Q** 就学援助受給率が低い原因をどう捉えているか。

**A** 毎年4月の家庭訪問時や、未納給食費の集金時などに声かけをしています。10月に令和3年度の就学支援を受ける方用に、全児童へ周知を徹底します。

# 9月定例会における審議結果一覧

## ■全会一致で可決・同意・受理

予 算	令和2年度掛川市一般会計補正予算(第8号)について
	令和2年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
	令和2年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について
	令和2年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
	令和2年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について
	令和2年度掛川市水道事業会計補正予算(第2号)について
	令和2年度掛川市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和2年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について
	令和2年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について
	令和2年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算(第1号)について
条例	掛川市個人番号の利用に関する条例の一部改正について
その他	大坂・土方工業用地造成工事変更請負契約の締結について
	学校教育情報化推進事業端末機購入契約の締結について
	令和元年度掛川市水道事業会計剰余金の処分について
報告	健全化判断比率の報告について
	資金不足比率の報告について

決 算	令和元年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
議 発	令和元年度佐東財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度掛川市水道事業会計決算の認定について
	令和元年度浅羽地域湛水防除施設組合会計歳入歳出決算の認定について
議 発	掛川市議会議員の期末手当の特例に関する条例の廃止について
	「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」の提出について

## ■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ○賛成 ×反対

議案名	創世会										AMK*		共掛*		至*	志*	共*		
	大石 勇*	寺田 幸弘	藤原 正光	榛村 航一	嶺岡 慎悟	山本 裕三	松本 均	小沼 秀朗	二村 禮一	鈴木 正治	藤澤 恭子	松浦 昌巳	窪野 愛子	山本 行男	鈴木 久裕	富田 まゆみ	鷺山 喜久	草賀 章吉	勝川 志保子
令和2年度掛川市一般会計補正予算(第7号)について 市内不動産業者より、市に対し、家代の里地内の緑地の売却に係る損害賠償請求事件の訴訟を提訴されたことから、これに応訴するための弁護士委託料を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
令和2年度掛川市一般会計補正予算(第7号)に対する附帯決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
掛川市自転車等駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市駅周辺駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

## ■賛否の分かれた議案(賛成少数否決)

令和2年度掛川市一般会計補正予算(第7号)に対する修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○
------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

\*議長(大石 勇)は、採決には参加しません

\*AMK▶アクティブマネジメント・公明クラブ 共掛▶共に創る掛川 至▶至誠の会 志▶志誠会 共▶日本共産党

### 未来日誌

#### 11月

2日(月)WEB de かけがわ 議会報告会 掛川市議会HPで公開  
 10日(火) 9:00 ○全員協議会  
 18日(水) 9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)

#### 12月

2日(水) 9:00 ○本会議(一般質問)

3日(木) 9:00 ○本会議(一般質問)  
 4日(金) 9:00 ○本会議(一般質問～議案質疑～委員会付託)  
 本会議終了後 ○常任委員会  
 9日(水) 9:30 ○常任委員会協議会  
 18日(金) 9:30 ○本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

#### 1月

21日(木) 9:00 ○全員協議会

※10月8日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

### 市議会だより第73号 (8月1日発行) 掲載 記事の補足説明

## 家代の里地内における緑地売却について

市議会だより第73号に掲載した不適切行政事務調査特別委員会委員長報告(P7)のうち、④家代の里地内における緑地売却に関する記事について、市民の皆様から御意見、御質問をいただきましたので、補足説明させていただきます。

当時、掛川市では、平成22年に「掛川市行財政運営方針及び行財政改革方針」を策定し、市及び地域の活性化や人口増加対策等にとって有効な場合には、市有財産(普通財産)の有効活用を積極的に推進していたという政策的背景がありました。

掛川市議会議長 大石 勇

### 飛沫防止パネルの贈呈

掛川木材協同組合様から、掛川産FSC認証材を使用した飛沫防止パネル2台を寄贈いただき、議場の演壇及び議長席に設置しました。



地元議員さんのお誘いで初めて市議会傍聴の機会を得ました。  
 議会開始の互礼で起立着席した際、傍聴席の座面がバネで跳ね上がっているのに気づかず危うく尻餅をつきそうになった以外、議場内の緊張感を感じつつ快適に傍聴できました。  
 実際に拝聴した質疑応答は2件でしたが、9月定例会一般質問全体11件中、ポストコロナ関連の項目が多く、「昨日お答えした通り…」など、質問や回答において類似や重複があるように思われました。質問者間で事前調整がもう少し行えると良いのかなと感じました。  
 施策の検討内容をもっと市民に発信すべきという意見がありました。我々も市政に関心を持つことが必要であり、今回の経験がそのきっかけになればと思います。

川口孝純(東大坂区)

傍聴席

新型コロナウイルス感染症はまだまだ世界に広がり続け、コロナウイルスにより社会は大きく変わり、今後は「新たな日常」としての生活となります。  
 今年度の議会報告会は各中学校区での開催を見送り、インターネット配信とすることになりました。多くの集会等が中止になり、直接ご報告をしたり、ご意見等をお聞きしたりする機会が減ってしまっていますが、市議会としても様々な手法を模索しながら、広報・広聴をしていくことができればと思います。

広報広聴特別委員会  
委員 嶺岡慎悟

### 編集後記



番場飛鳥さん  
(掛川特別支援学校)

背景は、「達人に学び伝える会」の会員により作成された葛布のタペストリーです。  
 題字は、静岡県立掛川特別支援学校3年番場飛鳥さんの作品を掲載しました。

### 今号の表紙



※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。

